

平成30年度 南アルプス市社会福祉協議会事業報告

I 法人運営事業

1 法人運営事業

法人運営の基盤整備を進め、経営体制の強化を図っている。

- ① 正副会長会議の開催
- ② 理事会・評議員会の開催
- ③ 評議員選任・解任委員会の開催
- ④ 監事の監査
- ⑤ 庁内会議
- ⑥ チーム制による会議（地区別チーム・研修チーム・防災チーム）
- ⑦ 職員研修の実施
- ⑧ 労務人事管理
- ⑨ 法人会計
- ⑩ 地域包括支援センター受託準備（新規）
- ⑪ 衛生委員会開催（ストレスチェック含む）
- ⑫ 市内社会福祉法人等との連携のための地域連絡会（仮称）
- ⑬ 市議会厚生文教常任委員会への説明会

名 称	内 容	開催回数・日付
正副会長会議	理事会、評議員会の対応について他	4回
理事会	第1回 平成29年度事業報告、決算他	5月29日
	第2回 本所の移転について他	8月27日
	第3回 平成30年度資金収支第1次補正予算他	12月14日
	第4回 平成31年度事業計画、予算他	3月12日
評議員会	第1回 平成29年度事業報告、決算他	6月14日
	第2回 平成30年度資金収支第1次補正予算他	12月21日
	第3回 平成31年度事業計画、予算他	3月19日
監事による監査	平成29年度定期監査	5月21日
評議員選任・解任委員会	第1回 評議員の解任・選任	6月1日
庁内会議	会長、副会長、局長、次長、課長、施設長、所長による全体会議	13回
職員チーム制会議	地区別チーム（計30回）	計44回
	研修チーム（7回）、防災チーム会議（7回）	
苦情解決第三者委	平成29年度の苦情・ヒヤリハット報告会	1回

員会	(60件)	
社会福祉法人等との連携のための地域連絡会（仮称）	社会福祉協議会の役割、市内社会福祉法人等との協働について他	1月30日
市議会厚生文教常任委員会への説明会	会長、局長、次長、各所属長により社協についての説明を実施	10月24日

2 苦情解決体制

社協が行う事業に係る市民や利用者等からの苦情を解決するための体制の整備、対応を行った。

苦情解決責任者 事務局長

苦情受付担当 各事業所の管理者

第三者委員 苦情解決に社会性や客観性を確保し、利用者の立場や特性に配慮した適切な対応を図るため3名に委嘱

苦情・事故・ヒヤリハット報告(H31.3.31現在)

苦情	事故（車両事故含む）	ヒヤリハット	合計
4件	48件	9件	61件

苦情の内容及び対応・結果の概要

No	部署	内容	対応・解決結果等
1	訪問介護課	利用者宅を訪問した際、5分程度で用事が済むため、その日は隣の土地に車を駐車した。5分後に向かいの家の住人が、私有地に勝手に車を止め、今まで何回注意しても改善がないと立腹された様子で利用者宅を訪れた。	課長と担当職員で向かいのお宅へ訪問。謝罪をし、社協だけでなく、その他関係事業所にも徹底することを約束、納得していただく。社協ヘルパーは駐車していなかった。関係事業所には計画相談から連絡してもらい、情報共有する。

2	慈恵寮	入所者が近隣住民宅の敷地内に入ったため注意したが、いろいろと文句を言って謝罪の意図が見えず、慈恵寮の方から本人に注意してほしいと来寮した。	入所者は興奮状態のため職員が謝罪する。今後は医療機関との連携を密にし、疾患の安定を図ると共に、近隣住民にも見守り、異変時の報告をしてもらうよう職員間で共有。門扉には、交通事故防止のための看板を設置した。
3	訪問介護課	市障害福祉課より、障害サービス利用者より、土曜日の訪問予定を調整がつかないからとキャンセルされ、自分の予定は後回しなのかと不安を覚えたと言ってきたと連絡が入る。すぐに利用者の内容を確認、電話で調整がつかないと言われ否定された気持ちになったとの事だった。	サ責と原因を確認、事業所側からキャンセルした事実はないが、ヘルパーの休みが重なり訪問の調整が難しく、利用者へ直接相談したため不安にさせ、混乱を招いた。今後は計画相談に調整が難しい旨相談し、事業所ももう一事業所検討して頂き、迷惑をかけないように対応、利用者への声掛けも注意して行う。
4	総務課	匿名希望で、デイサービスセンターわかくさの利用者と名のる男性より、施設内のトイレにドアがなくカーテンになっているのでちゃんとしたドアをつけてほしい、車いす利用者がいることや予算等の関係で難しい面もあると思うが、一度施設を確認してほしいと相談があった。	所属長に報告、デイ所長にも匿名で相談があった件伝える。施設を確認し、対応状況についてデイ職員より聞き取りを行った。今後もご意見等を頂いた場合は真摯に受け止め対応していく。

3 会員の確保

社会福祉法に則った社協運営の実現、自主性を持った社協活動の拡充、地域福祉活動のより一層の充実を図るため、会員規程の改正を行い、一般会員や賛助会員への加入や協力を依頼した。

一般会費（自治会）（H31.3.31 現在 ※世帯数は H30.4.1 現在）

地区	全世帯数	自治会加入世帯数	会員戸数	納付比 (%)	金額 (円)
八田	2,834	1,923	1,666	58.8	1,666,000
白根	7,731	5,477	4,987	64.5	4,860,000
芦安	141	139	118	83.7	118,000
若草	4,823	3,010	2,661	55.2	2,661,000

櫛形	7,199	5,660	4,406	61.2	4,573,100
甲西	4,880	3,346	2,940	60.2	2,940,000
その他			2		2,000
合計	27,608	19,555	16,780	60.8	16,820,100

一般会費（社会福祉事業を行う個人、団体から）納入状況（H31.3.31現在）

区分	会員数	金額（円）
団体	29団体	217,000
合計		217,000

賛助会費納入状況（H31.3.31現在）

区分	会員数	口数	金額（円）
個人	54名	122口	122,000
団体	31団体	44口	204,000
合計			326,000

4 役員研修への参加

① 各種講演会・研修会・山梨県福祉大会等への参加

名称	開催日	参加者
ファンデレイジング研修	5月24日	理事 7名 監事 1名
役員研修	9月18日	理事 12名 監事 1名
街頭募金（市内各所）	10月 1日	理事 12名
市社会福祉大会	11月18日	理事・監事 12名 評議員 10名
県社会福祉大会	11月28日	理事・監事 7名 評議員 4名
社会福祉法人地域連絡会	1月30日	理事 10名 評議員 2名
県やまなし福祉救援活動フォーラム	3月 6日	理事 3名 評議員 3名

社会福祉協議会受付簿記載の人数であり、個別での参加人数は除く

5 地域防犯・防災への取組み（青色回転灯装備自主防犯パトロール）

① 21回実施（平成31年1月24日開始）

II 地域福祉推進事業

1 地域交流事業

地域の情報共有の場や課題発見の場となるよう活動の充実や住民同士が話し合う場やふれあいの場づくりを進めた。

① ふれあい・いきいきサロンの充実

●高齢者サロン

開催箇所数	35団体
開催回数	580回
参加者延べ人数	12,747名

●子育てサロン

開催箇所数	3団体
開催回数	56回
参加者延べ人数	1,061名

●障がい者サロン

開催箇所数	2団体
開催回数	31回
参加者延べ人数	411名

●その他サロン（全般）

開催箇所数	20団体
開催回数	637回
参加者延べ人数	10,554名

研修会の開催 全2回（1回目：72名 2回目：97名）

※開催場所等 別紙参照

② 福祉バスの運行

	運行回数（温泉）	乗車人数（温泉）
楡形福祉バス	121（49）	1,590（241）
若草福祉バス	184（130）	1,315（270）
計	305（179）	2,905（511）

③ みんなで地域をよくする事業

ふくし小委員会・生活支援体制整備協議体

生活支援体制整備協議体（2層）

地 区	開 催 日
八田地区（八田）	4月6日、6月20日、8月29日、9月11日、10月21日、

ふれあいプロジェクト)	11月4日、11月11日 寸劇披露6月22日(那須町)6月28日(身延町)9月20日 (さわやか福祉財団インストラクター)12月5日(支えあいの地域づくり実感フォーラム)1月26日(保護司会)2月2日(甲斐市)3月9日(八田老人クラブ)
八田地区	4月18日、5月16日、7月18日、6月20日、9月27日、 10月21日、11月22日、1月23日、2月27日、3月18日
白根東地区	5月23日、7月25日、8月1日、9月19日、11月21日、 1月16日、3月13日
白根源地区	6月11日、7月18日、9月13日、10月16日、11月21日、 12月18日、1月30日、3月12日
白根百田地区	5月22日、7月11日、8月29日、10月3日、11月7日、 12月12日、2月6日、3月16日
白根飯野地区	4月24日、5月30日、6月29日、9月14日、8月2日、 10月18日、11月30日、12月26日、1月31日、2月22日
白根飯丘地区	4月17日、5月12日、6月15日、7月17日、8月21日、 9月18日、10月11日、12月4日、1月29日、3月4日
若草北地区	4月23日、5月30日、8月21日、10月30日、12月12日、 2月7日
若草南地区	4月24日、5月29日、6月26日、7月31日、8月27日、 9月25日、10月30日、11月30日、12月25日、2月26日
楡形西地区	5月25日、7月24日、9月26日、11月28日、1月19日
楡形北地区	5月9日、6月19日、7月31日、8月31日、10月2日、 11月13日、12月14日、2月15日、3月19日
楡形小笠原	5月26日、6月26日、7月2日、8月20日、9月21日、 10月29日、12月10日、2月4日、3月8日
楡形豊地区	12月12日、2月12日、3月11日
芦安地区	4月20日、5月14日、6月14日、7月12日、8月9日、 9月20日、10月23日、11月19日、12月20日、2月1日、 3月6日
甲西大明地区	6月5日、6月7日、7月25日、11月9日、12月7日、 1月18日、2月8日
甲西南湖地区	11月20日、1月21日、2月21日、3月22日
甲西落合地区	4月23日、5月28日、6月25日、7月30日、8月27日、 9月25日、10月29日、11月26日、1月28日、2月25日、 3月25日

④ 地域交流拠点「しゃきよんの家下町」

来場者数

種 別	延人数（団体数）	備 考
視察団体	1 団体	延べ団体数（富士川社協）
昼食提供者	3 3 名	延べ人数
来所者数	3 5 0 名	（デイ利用者は除く）
学生実習受け入れ	1 名	社会福祉士実習 1 名

拠点貸出

内 容	貸出回数	備 考
囲碁クラブ	2 4 回	延べ 1 6 5 名参加

学習会・体験・講演会（イベント）

事 業 名	開催回数	延参加人数	備 考
映画鑑賞	1 2 回	8 4 人	
笑いヨガ・ゆる体操・体操教室 等	4 8 回	3 4 6 人	
音楽関係講座	5 2 回	3 7 4 人	
教養講座	2 5 回	1 9 3 人	歴史、調理、手芸等

地域との連携

会 議 名	開催日	参加者数	備 考
運営推進会議	9 月 3 日 1 月 1 6 日	17 人	民生委員、町内会長、病院、老人クラブ、社協関係者 利用者代表、家族
下町世代間交流実行委員会	4 月 7 日 5 月 2 3 日 9 月 3 日 6 月 5 日 1 0 月 2 2 日 1 0 月 2 7 日 3 月 2 7 日	延べ 72 人	民生委員、愛育会役員、健康増進課、サロン代表、市生活支援CD、社協、イベント参加者
地域イベント	6 月 3 日 1 0 月 2 7 日	延べ 1 0 0 人	花めぐり ハロウィン

⑤ 通所型サービスE事業

通所型サービスE事業（介護認定を受けていない65歳以上の方）

	実人数	回数	延べ人数	備 考
八田地区	1 8 名	1 0 0 回	7 4 8 名	1 箇所
白根地区	3 6 名	1 4 9 回	1, 4 7 8 名	1 箇所

芦安地区	6名	50回	230名	1箇所
若草地区	35名	369回	2,415名	4箇所
甲西地区	34名	151回	1,336名	1箇所
計	129名	819回	6,207名	8箇所

2 高齢者の生きがいづくり

住み慣れた地域の中で孤立せず、元気で自立した生活を送ることができるよう高齢者の支援を促進し、ボランティア活動など、積極的な社会参加を通して介護予防につながる支援を行った。

① 高齢者の生きがいと健康づくり推進事業

講座名	登録人数	回数
やさしいゆる体操と思い出話の会	11名	10回
楽しいフラダンス	25名	19回
民踊教室	5名	11回
なでしこカラオケ教室	21名	10回
フラダンス教室	10名	11回
健康寿命延伸講座	7名	11回
合計 6講座	79名	72回

② ボランティアポイント制度事業

登録者数	135名	延べ活動回数	1,273回
活動受入施設	46カ所	内在宅活動回数	553回
ポイント活用申請者数	47名	合計ポイント数	1,490
養成研修等開催日・参加者数	8月8日養成研修・20名 10月17日フォローアップ研修・36名 1月24日養成研修・5名 3月14日フォローアップ研修&ポイント活用申請説明会・24名		

③ 社会参加の促進

社会参加セミナー

6月30日「つながる」(ボランティア交流会同時開催)

9月18日「衰退していく団体とは？」

12月18日「誰もが“生きがい”を持てる社会参加とは」

3 障害者への支援

障害者を支援するボランティアや住民と連携を図り、障害が特別なも

のでないこと、地域住民の一人であることへの理解を進める支援を推進した。

- ① 障害者サロン等への助成
- ② 現場実習の受け入れ
平成30年度 0件
- ③ 当事者ふくし人材バンクの準備
- ④ 精神障害者等社会適応訓練事業等就労支援

4 ふくし教育（児童・生徒）

学校や地域のボランティアと連携を図りながら、未来を担う子どもたちの福祉に対する意識啓発を推進した。

- ① ふくしポスター募集事業
応募数 800点
最優秀賞1点・優秀賞3点・佳作6点・審査員特別賞1点
福祉大会において表彰
- ② 夏休みボランティアスクール開催
8月4日（土）～5日（日）
参加児童 27名 ボランティア 63名
- ③ ふくし教育出前講座
実施校 15校

5 ふくし教育（一般）

地域住民に対して、実際のふくし問題を元に自分事として捉え、自分にできる事などを考える視点を育てる支援を行った。

- ① ふくし勉強会
7月28日（土）、11月18日（日）、2月10日（日）
延べ285名参加
- ② 障害の理解を深める活動に対する支援

6 福祉行事の推進

地域住民が集う事業を通じて、地域のつながりや福祉活動の推進を図った。

社会福祉大会の開催 参加者250名
日 時：平成30年11月18日（日） 桃源文化会館桃源閣
内 容：第一部式典（表彰）
第二部講演「第2回ふくし勉強会2018」

7 在宅福祉活動の推進

住み慣れた地域で自分らしく自立した生活が安心して送れるように、

住民や市と連携を図り支援した。

① 食の自立支援事業

実人数 80名
延べ配食数 14,752食

② おやつサービス事業

実施回数 70回

③ 芦安通院サービス事業

登録者数 21名
延べ利用人数 257名

④ 本所通院サービス事業

登録者数 54名
延べ利用人数 773名

⑤ 車いす・福祉車輛の貸し出し事業

車いす 本所55回 白根げんき館21回
福祉車輛 368回

⑥ 介護保険外ホームヘルプサービス

実施回数 107回

⑦ 買い物支援への車輛貸出事業

貸出回数 11回

⑧ 制度外入浴サービス事業

実施回数 0回

⑨ ふくし生活支援サービス事業

サポーター数 70名 サービス提供回数 852回

8 貸付事業

低所得者世帯、高齢者世帯、障害者世帯等を対象にした貸付制度の活用により、地域での自立した生活が維持できるよう支援した。

① 生活福祉資金貸付事業

新規貸付 2件 1,764,000円

② 居室整備資金貸付事業

新規貸付 0件

③ 生活福祉資金利子補給事業

生活福祉資金利子補給事業 0件

居室整備資金利子補給事業 0件

④ 社会福祉金庫貸付事業

新規貸付 1件 50,000円

30年度償還 7件 137,000円

償還完了 2件

徴収不能処理 2件 120,000円

貸付残額 32件 2,310,595円

9 啓発事業

社協の事業を深く理解してもらうために必要な情報を広く住民に伝え、福祉の啓発を図った。

- ① 社協だよりの発行
年2回（7月1日・2月1日） 配布数（1回につき） 20,581部
- ② ボランティア情報誌の発行
毎月1日発行 配布数（1回につき） 20,400部
- ③ ホームページによる情報発信
ホームページアドレス (<http://www.minami-alpsshakyo.or.jp>)
- ④ フェイスブックによる情報発信
掲載記事 210 いいね数 1,920

10 共同募金

共同募金や歳末助け合い募金に対する理解を広げ、募金及び配分について適切な計画を立て、効果的な募金活動や配分事業を行った。

- ① 赤い羽根共同募金事業
- ② 歳末たすけあい募金事業

11 施設の管理

管理者として適切な管理運営とサービスの向上に努めた。

施設名	利用人数（通所E除く）
①白根げんき館（指定管理）	3,583
②甲西保健福祉センター（指定管理）	10,319
③旧若草健康センター（補助金）	2,935

12 ボランティア活動事業

ボランティアの普及啓発のため情報発信・人材育成・ニーズとボランティアとのコーディネートを行い、地域住民と共に地域づくりを行う。併せて、地域で必要とされている人材等の育成・支援も推進した。

- ① ボランティアセンター運営
- ② ボランティア団体助成
- ③ ボランティア相談
- ④ ボランティアの育成支援
- ⑤ ボランティア交流会開催支援

社協が活動費を助成しているボランティア団体40団体
内訳（20,000円39団体 10,000円1団体）

ボランティア事業

開催日 回数等	事業名	延べ参加者数
8月4日～5日	夏休みボランティアスクール	90名
6月30日	ボランティア交流会	122名
8月30日、 2月22日	サロンボランティア研修	169名
6月30日、 9月18日、 12月18日	社会参加セミナー	250名
毎月1回（第3水）	男性ボランティア定例会	120名
毎月1回（第2火）	女性ボランティア定例会	60名
毎月1回（第3木）	話し相手ボランティア定例会	96名
ゴミ拾い4回 花植 え2回	花植えゴミ拾いボランティア活動	60名
随時	福祉ボランティア活動	56名

1.3 防災地域支援事業

各種団体や公的機関、地域住民と連携を図りながら、「防災」をキーワードに地域づくりを行った。

- ① 地域における減災・防災のまちづくり事業
 - 災害ボランティアセンター設置運営訓練
 - 防災地域出前講座
 - 防災福祉教育
 - 防災意識啓発活動
- ② 被災地への職員派遣
 - 7月18日（水）岡山県倉敷市 職員3名
 - 9月5日（水）～10日（金）広島県三原市 職員1名
 - 8月12日（日）～17日（金）広島県三原市 職員1名
- ③ 災害・防災ボランティアの育成支援
（防災ボランティア養成講座含む）
 - 西日本豪雨災害被災地支援ボランティアバス運行
 - 8月16日（木）～18日（土）
 - 岡山県倉敷市真備町 災害ボランティアセンター下二万サライト 31名

防災ボランティア育成・啓発活動

開催日	事業名	延べ参加者数

5月15日	災害・防災ボランティア地区連絡会全体会	45名
8月5日～6日	夏休み防災ボランティアスクール	90名
8月17日	災害防災ボランティア養成講座	31名
11月11日	藤田地区避難所、 災害ボランティアセンター訓練	30名
11月18日	災害ボランティアセンター設置運営講座	54名
3月3日	防災ボランティア意識啓発活動	400名

1.4 相談に関する事業

生活の中で不安を感じている方からの相談にのり、安定した生活が続けられる様に、地域の方や関係機関と連携し課題解決を進めた。また、個別の課題から地域の課題への転換を行い、必要とされる地域資源の開発や、地域づくりに努めた。

① コミュニティソーシャルワーカー配置事業

相談件数延べ 8,077件 実人数374名

相談支援内容	延件数	連携機関	延件数
金銭問題	549	本人	3,634
住居問題	150	同居家族	401
生活問題	6,022	別居家族	191
法律問題	9	地域住民・知人	437
家庭・環境問題	402	民生委員	392
健康問題	246	医療機関	234
労働問題	118	警察・保健所	61
教育問題	13	学校・保育所等	19
就労問題	234	福祉総合相談課（生活保護）	158
介護問題	128	福祉総合相談課（相談支援）	291
その他	206	地域包括支援センター	568
年代別相談支援者数	実人数	社会福祉協議会内	655
15歳未満	3	ケアマネジャー	262
15～29歳	16	障害者相談支援センター	92
30～39歳	15	障害者計画相談	45
40～49歳	27	サービス提供事業所 （高齢・障害）	78
50～59歳	36	就労準備支援事業所	3
60～64歳	25	企業／NPO	171
65歳以上	252	ハローワーク	26
		その他	359

- ・専門職向け研修
 専門職（ケアマネジャー、介護福祉士、保健師、社会福祉士、精神保健福祉士）向けコミュニティソーシャルワーク実践報告会
 3月5日（火） 参加者数48名
- ・ふくし出張相談会
 月2回（第1、第3水曜）開催 相談来所者数16名
 開催場所
 甲西保健福祉センター、八田ふれあい情報館、橿形社会福祉会館、百々公民館、JA 藤田経済店舗、天神団地市営集会場、橿形西農村環境改善センター、芦安窓口サービスセンター、働く婦人の家、JA 源支所、湯沢区公民館、県営住宅若草下今井団地、橿形北農村環境改善センター、JA 飯野支所、西野松聲堂、八田ふれあい情報館、上八田公民館、浅原集落センター、神ノ木団地集会場、飯野新田営農センター、芦安大曾利子供憩いの家
- ・企業への啓発活動（新規）
 11月21日（水） JA 南アルプス市
- ・中間的就労支援（新規）
 ユニバーサル就労研修（7月26日静岡県富士市）
 ステップワン事業
 10月22日（社協本所草取り）、11月22日（慈恵寮落ち葉はき）、12月19日（ほうとう作り）、1月25日（カレー作り）、2月22日（牛井作り）、3月22日（焼きそば作り）
- ・ひきこもり支援ゲーム大会
 3回開催 実参加者数6名
- ・ふくし相談支援センターのチラシ設置場所
 公共施設、コンビニ、スーパー、JA 窓口、病院等計168カ所

② 各関係機関の依頼による講師

防災講話

実施回数	32回	延べ参加者数	2,565名
------	-----	--------	--------

ボランティアについて

実施回数	6回	延べ参加人数	108名
------	----	--------	------

サロン説明

実施回数	1回	延べ参加人数	20名
------	----	--------	-----

ふくし教育の実施 小中学校

実施校	16校	延べ実施数	56クラス 1,551名
-----	-----	-------	-----------------

③ 相談援助実習生受入

学 校 名	受け入れ期間	人 数
山梨県立大学【3年】	8月14日～9月14日	2名
山梨県立大学【2年】	10月3日・17日・24日・31日	64名
健康科学大学【2年】	9月26日	15名
計		81名

1.5 視察受入

① 視察受入

団体名		内 容	人 数
甲州市社協	5月25日	協議体、ふくし勉強会について	4名
館山市社協	8月1日	ボランティア人材育成の取り組み (有償ボラ、ポイント事業、社会 参加セミナー) について	11名
川越市自治会 連合会大東支 会	9月10日	地域の見守り活動、支えあい活動、 社協の取り組みについて	43名
結城市社協	11月15日	法人後見事業、ふくし相談支援セ ンター事業について	20名

III 成年後見センター事業

判断能力は低下しているが契約能力のある方が対象となる「日常生活自立支援事業」と本人に代わって契約行為や財産管理を行う「法人後見」を行った。日常生活の判断能力が低下している方でも、他職種や地域の方々と連携を図り、その人らしく安心して生活が送れるよう支援した。また権利擁護に対して研修や啓発活動を行うなか、成年後見市民講座の研修を修了した市民生活支援員も7名が活動した。今後、認知症高齢者等が増えることは予想されるため、潜在的ニーズ発見やつなぎなどの研修や啓発活動にも力を注いでいく。

① 法人後見関係受任件数推移

平成30年度新規受任件数	11件	後見6 保佐3 補助2
平成30年度終了件数(死亡)	6件	後見6
受任件数	20件	後見12 保佐5 補助3

延べ相談支援回数	890回	担当者会議含む
----------	------	---------

② 日常生活自立支援事業契約件数推移
(福祉サービス利用援助事業・県委託事業)

平成30年度新規契約件数	14件	認知7 知的5 精神2 その他0
平成30年度終了件数	19件	認知12 知的4 精神3 その他0
契約件数	76件	認知22 知的30 精神21 その他3
延べ相談支援回数	4,768回	担当者会議含む

③ 後見センター相談受付状況

平成30年度新規相談件数	67件	
延べ相談支援回数	177回	担当者会議含む
後見相談会	3件	

④ 後見センター委員会関係

委員会名	回数	備考
成年後見センター運営委員会 (日常生活自立支援事業推進委員会兼ねる)	3回	センターの事業内容等方向性について検討
後見業務検討委員会	5回	後見受任の可否・支援内容等の検討

⑤ 人材育成

内容	日程	備考
日常生活自立支援事業生活支援同行訪問	6日間	30年度講座受講者
成年後見市民講座	9月 5日 12日 19日 26日 10月 3日	成年後見制度・日常生活自立支援事業について 参加者希望者17名 同行実習者 2名

市民生活支援員7名 担当人数 後見12名 日常生活自立支援事業23名

⑥ 会議出席・講師派遣・啓発活動

内容	日程	場所・主催者等
ケアプランいなみ研修会	5月18日	ケアプランいなみ
日常生活自立支援事業専門員	6月12日	県社会福祉協議会

会議		
市民児協正副会長会議	6月22日	市民児協各支部会長・副会長
家庭裁判所連絡会議	7月23日	家庭裁判所
認知症支援ネットワーク会議	8月1日 2月26日	市介護福祉課
契約締結審査会	9月25日 1月29日	県社会福祉協議会
運営適正化委員会(実地指導)	10月5日	運営適正化委員会(県社協)
専門員連絡会議	12月12日 2月26日	県社会福祉協議会
地域ささえ愛セミナー	3月23日	市福祉総合相談課
後見相談会	毎月20日	社協

IV 介護保険事業

介護保険制度のもと介護サービスを担う事業所として、高齢者等が要介護状態になっても住み慣れた地域でいきいきと生活が送れるよう良質なサービス提供に努めた。また、地域に貢献できる福祉・介護の拠点としての事業所を目指し、安定した経営を図った。

1 居宅介護支援事業(1事業所)

介護認定を受けている利用者の個々の状況に合わせて、利用者主体の居宅介護計画(ケアプラン)作成に取り組んだ。特に支援困難な状況や複雑な背景に置かれているケースには、地域の支援者や多様な資源をケアプランに取り込み、多職種とともに利用者の生活を支えるチーム作りを目指し、多職種連携を強化してきた。また主任介護支援専門員を配置し5名の体制で、特定事業所を維持して運営することができた。

新規依頼の相談(年間) 57件 うち支援開始18件
カンファレンス・担当者会議 254件

① 介護保険

介護度	年間利用者数 (延べ)	月平均件数 小数四捨五入
要介護1	531	44
要介護2	634	53
要介護3	435	36
要介護4	239	20
要介護5	117	10
合計	1,956	163

中重度者(介護3～5)の割合は全体の40%となっている。

② 介護予防

介護度	年間利用者数 (延べ)	月平均件数 小数四捨五入
要支援1	0	0
要支援2	40	3
合計	40	3

③ 実習受け入れ

平成30年度介護支援専門員実務研修 実習(1月～2月)2名3日間
(計6日間)

④ 研修の演習助手派遣

山梨県主任介護支援専門員研更新研修 1名(8～9月 計5日間)

2 訪問介護事業・介護予防訪問介護相当サービス事業・訪問型サービスA事業(1事業所)

要支援、要介護認定を受けている利用者、または総合事業対象者の居宅にホームヘルパーや支援員が訪問し、個々のケアプランに沿って身体介護や家事支援を行い、利用者自身が主体的に、地域で自立した生活となるようサービス提供を行った。利用者が一番身近なところで支援を行う介護サービス事業であり、日常の支援の中でキャッチした個々の課題や地域課題については、解決に向けて発信し、多様なサービスや地域の資源につなげるように努めた。

① 介護保険事業(訪問介護・総合事業訪問型サービス・訪問A)

サービス提供日数	延べ利用者数
365日	1466人

内訳 訪問介護 1,005人(年間延べ)
総合事業訪問型 65人(〃)
訪問型A 396人(〃)

② 講師派遣・協力

・3月7日 介護アンバサダー「介護の魅力」北杜高校1年生特別授業
(山梨県保健福祉部健康長寿推進課)

③ 訪問介護実習等の受け入れ 2校 4名 (3日間)

- ・優和福祉専門学校(介護福祉士)1年生 1日見学実習2名(6月)
(計1日間)
- ・甲斐清和高校(介護専科)2年生 1日見学実習2名(7月)

	人数	回数	人数	回数	人数	回数	人数	回数
デイわかくさ	0	0	3	26	127	1,468	98	1,088
デイゆうかり	0	0	25	181	176	1,384	349	3,757
しゃきよんの 家下町	0	0	36	299	103	1,126	41	509
合計	0	0	64	506	406	3,978	488	5,354
事業所	介護3		介護4		介護5		合計(延べ)	
	延べ 人数	延べ 回数	延べ 人数	延べ 回数	延べ 人数	延べ 回数		
デイわかくさ	67	685	97	1,005	83	866	5,138	
デイゆうかり	137	1,674	40	468	11	89	7,553	
しゃきよんの 家下町	41	487	2	15	0	0	2,436	
合計	245	2,846	139	1,488	94	955	15,127	

わかくさデイ

- *要支援1・2の内 総合事業 延べ人数 3名 延べ回数 26回
- *基準該当障害福祉サービス 延べ人数 15名 延べ回数 249回

デイゆうかり

- *要支援1・2の内 総合事業(通所型サービスA) 延べ人数 12名
延べ回数 33回
- *基準該当障害福祉サービス 延べ人数12名
延べ回数 92回

しゃきよんの家

- *要支援1・2の内 総合事業 延べ人数 36名 延べ回数 299回

③ 年間の主な行事

- ・お花見会 ・保育園児との交流 ・夏祭り ・おやつづくり
- ・紅葉狩り ・クリスマス会 ・節分会 ・誕生会 ・地域住民の交流
- ・福祉運動会への参加 ・小学生との交流 ・映画鑑賞 ・子育てサークルとの交流会 ・感謝祭(地域交流) ・映画鑑賞

④ ボランティア協力状況

事業所	定期的なボランティア数	訪問ボランティア団体数	訪問ボランティア回数
デイわかくさ	延べ 579人	22	113
デイゆうかり	延べ 120人	25	120

しゃきよんの家下町	延べ 164人	6団体他個人	108
-----------	---------	--------	-----

⑤ 実習受け入れ

- 甲斐清和高 (施設実習) 3名
- 優和福祉専門学校 (介護福祉士養成) 2名
- 社会福祉士実習生 1名 個人での実習受け入れ 1名

V 障害福祉サービス事業

障害者総合支援法のもと指定障害サービス事業所として、関係機関と連携し、利用者がその人らしい自立した在宅生活を送れることを目的に、家事や外出時の介護など日常生活を支援した。

① 障害者総合支援事業 (居宅介護・重度訪問介護・同行援護)

サービス提供日数	延べ利用者数
365日	689人

② 障害者移動支援事業 (委託事業)

ヘルパー支援型 利用者数	延べ 195名	年間 724回
車両型 利用者数 (登録者 40名)	延べ 207名	年間 1,184回

③ 養育支援訪問事業 (委託事業)

利用件数	1件	派遣回数	10回
------	----	------	-----

④ 生活介護 (基準該当障害福祉サービス)

- * 基準該当障害福祉サービス 延べ人数 12名
- 延べ回数 100回

VI 養護老人ホーム事業

心も身体も日々元気な生活をおくるために、意欲と笑顔につながるような個別支援を行い、また、近隣の地域住民と合同で行う防災訓練や交流事業を通して地域に開かれた施設運営を進めた。

市は、平成 29 年度から有識者による「慈恵寮あり方検討会」を設置し、閉鎖の方向性が示された。その答申を受け、平成 30 年 10 月 27 日に入所者、引受人に説明を行い閉鎖の方向性を示した。その結果、平成 31 年 1 月から 9 名の入所者が退所となった。

今後も措置替えは行われるが、引き続き、入所者の権利と人格を尊重し、

地域住民の一人として自分らしく生活ができるよう支援を行うとともに、地域や関係機関と連携を図っていく。

① 入所者数推移（毎月1日現在）

H30. 4月	5月	6月	7月	8月	9月
29名	30名	30名	31名	29名	29名
10月	11月	12月	H31. 1月	2月	3月
29名	29名	28名	28名	27名	23名

平成31年3月31日現在19名

② 主な実施行事

月日	事業内容
4月 1日	御幸祭にて神輿来寮
5日	お花見会(天候不順の為寮内 大正琴ボランティア早乙女流等)
18日	本の読み聞かせ(中央図書館)
5月 10日	B B Q (天候不順のため寮内)
17日	緑のカーテン設置
23日	手作りおやつ(お好み焼き)
30日	誕生日プレゼント外食(かつぱ寿司・ガスト)
31日	外出レクリエーション(みたま公園、道の駅富士川) 2日間
6月 5日	春の花植え
6日	体協舞踊部の慰問
15日	外出レク(みたま公園、富士川道の駅)
19日	市長100歳慶祝訪問・精神科一斉検診(陝西病院)
21日	防災訓練(自然災害発生多発の為緊急訓練)
7月 2日	七夕飾り
17日	おやつバイキング
26日	納涼盆踊り大会(地域住民協力、市長等参加)
29日	楯形荘納涼会参加
31日	歯科一斉検診(くわしま歯科)
8月 4日	手作りおやつ(かき氷) 3日間
13日	棚経(善徳院)・お盆迎え火
17日	本の読み聞かせ(中央図書館)
23日	厚生連一斉検診(1回目)
28日	救急法 AED 使い方訓練(消防本部協力)
9月 7日	内科一斉検診
10日	演奏ボランティア(静岡福祉大学生2名)
18日	ぶどう狩り(原田農園)
20日	市内最高齢慶祝訪問(109歳)
21日	生け花ボランティア来寮
26日	夜間避難訓練(消防本部協力)
10月 27日	市より慈恵寮の今後についての説明会
28日	キャンディーステーション実施
29日	希望者外出(ボーリング場)
30日	交流運動会(柿平いきいきクラブ・中央保育所・近隣住民)
11月 2日	芋掘り
8日	紅葉見学(ドライブ)
12日	花植え(2日間)
13日	本の読み聞かせ(中央図書館)
17日	柿平子供クラブと落ち葉掃き
21日	インフルエンザ予防接種

	26日	芋大会	
	27日	秋レク（紅葉めぐり、オーチャード昼食、ハッピーパーク買物）	
12月	1日	2日	櫛形文化発表会展示
	2日	柿平地区合同防災訓練	
	4日	精神科一斉受診（峡西病院）	
	8日	クリスマスツリー飾り付け	
	11日	歯科一斉検診（くわしま歯科）	
	13日	居室大掃除（2日間）	
	18日	忘年会	
	25日	クリスマス会	
1月	14日	柿平地区のどんどこ焼き（団子作り）	
	18日	新年会（夢ロマン）	
	22日	期日前投票	
	29日	おやつバイキング	
2月	3日	節分・豆まき	
	26日	どじょっこの会演芸披露	
3月	4日	オギノへ買い物（3日間）	
	8日	ポップサーカス観覧	
	13日	厚生連一斉検診（2回目）	
	13日	防災訓練	
	26日	内科一斉検診	
	26日	防災出前講座	
	29日	演奏ボランティア（静岡福祉大学生2名）	

※ 誕生会は毎月末におやつ時実施（2月から誕生日に実施）

※ 毎月講師指導のもとクラブ活動を実施（音楽・書道・華道・ゆる体操・健康体操・舞踊） ※映画会は毎週日曜日 ※訪問理髪 年4回 …他

※お楽しみ給食毎月15日

※学生ボランティア1名（愛知淑徳大学1名 3月に3日間受け入れ）

③ ボランティア協力状況

月	団体名・個人等	人数	月	団体名・個人等	人数
4月	早乙女流大正琴等	8名	11月	柿平子供クラブ落葉掃き	80名
5月	音楽クラブ等	4名		マジックボランティア等	
6月	体協舞踊部等	53名	12月	フラダンス等	9名
7月	草刈り、除草等	2名	1月	夢ロマン	2名
8月	中央図書館読み聞かせ等	7名	2月	どじょっこの会	9名
9月	生け花ボランティア等	4名	3月	大学生歌の訪問等	5名

VII その他

各種団体事務局運営

① 共同募金市支会の運営

●配分金事業

事業名	事業内容	配分額(円)
地域社会福祉事業(A4)	福祉ポスターの募集 学校での福祉教育	533,000
	地域福祉活動計画評価事業	300,000
あったかサービス事業(A6)	ふれあい生き生きサロン助成事業	900,000
地域における防災・減災のまちづくり事業(A7)	地域への防災・減災の啓発活動など	270,000
みんなで地域をよくする事業(A7)	一次相談事業・ふくし小委員会・地域福祉活動団体助成	270,000
市町村社協地域福祉活動事業(B1)	ボランティアだより発行	2,500,000
	ボランティア活動推進事業	361,092
小地域福祉活動事業(B2)	ふれあい広場助成事業	600,000
地域福祉活動団体推進(B3)	ボランティア団体育成事業	650,000
歳末たすけあい事業(C)	学用品支援事業	100,000
計		6,484,092

●街頭募金活動

10月1日(月)社協理事・ボランティア・福祉施設・職員により市内6ヵ所において実施

② 老人クラブ事務局の運営

- ・正副会長会議 4回 理事会 4回
- ・ゲートボール大会・グランドゴルフ大会・囲碁大会・高齢者作品展・理事交流会・単位クラブリーダー研修会

VIII 職員の質の向上(職員研修)

職員研修

研修日	内容	講師	参加者
5月24日	ファンドライジング研修	日本ファンドライジング協会 久津摩和弘氏	41名

2月20日	JAF 交通安全座学講習会	J A F 山梨支部丹沢氏	19名
-------	---------------	---------------	-----

研修チーム主催の職員研修

研修日	内 容	講 師	参加者
2月12日	ファシリテーションの基礎を学ぶ	NPO 法人 bond place 井上晶夫氏	38名

総務課

研修日	内 容	主催者	参加者
4月26日	障害福祉サービス制度と障害特性について	社協訪問介護課	1名
5月23日	JAIFA オープンセミナー	J A I F A	2名
6月8日	事務担当者基礎研修（労務・給与）	山梨県社会福祉協議会	1名
5月24日	新任課長職研修（所属長）	南アルプス市	2名
5月28日	人事評価・目標設定研修（所属長対象）	南アルプス市	2名
10月1日から	社会福祉法人経理担当者育成講座（全3回）	（株）山梨ビジネスコンサルティング	1名
10月16日	デス・エデュケーション研修（福祉サービス苦情解決事業研修会）	山梨県社協	1名
10月19日	安全運転管理者研修	山梨県交通安全協会	2名
11月16日	給与大臣年末調整セミナー	応研株式会社	1名
2月4日	平成30年度 社会活動基盤協会・実践研修【初任・若手職員対象】	山梨県社協	1名
2月18日	平成30年度 社会活動基盤協会・実践研修【リーダー・係長等中間管理職員対象】	山梨県社会福祉協議会	1名
3月7日	健康保険委員年金委員研修	協会けんぽ	1名

地域福祉課

研修日	内 容	主催者	参加者
5月12日～ 2月16日	社会福祉士基礎研修Ⅲ（集合研修10日間）	県社会福祉士会	2名
6月7日	生活福祉資金貸付事業研修会	県社協	1名
6月20日	山梨県障害者職業センターに	山梨産業保健総合支	1名

	おける職場復帰支援について	援センター	
6月22日	ひきこもり地域支援者研修会	県立精神保健福祉センター	5名
7月12日	第55回関東ブロック郡市町村社協職員合同研究協議会	関ブロ郡市町村社協職員合同研究協議会 実行委員会	7名
7月26日	ユニバーサル就労から南ア社協オリジナルの中間的就労支援を考える	富士市社協・富士市ユニバーサル就労支援センター	8名
7月15日	ボランティアコーディネーター育成事業	県ボランティア協会	4名
7月30日～ 31日	地域共生社会・地方創生の実現にむけた福祉教育の進め方	全社協	2名
7月31日～ 1月26日	基礎研修Ⅰ（集合研修2日間）	県社会福祉士会	1名
8月3日	日常でも使える動機づけ面接法	山梨産業保健総合支援センター	2名
8月31日～ 9月1日	0歳から100歳のすべての人が安心して暮らせる地域づくりを目指して～地域共生社会の実現に向けた包括的支援体制の戦略～	NPO 法人日本地域福祉研究所	2名
9月5日	相談援助技術研修会	県社協・県民児協	2名
10月1日～ 29日	甲斐の国・防災リーダーフォローアップ研修（4日間）	山梨県	1名
11月2日～1 2月7日	甲斐の国・防災リーダー養成講座	山梨県	1名
11月6日	住民主体の移動支援事業・地域支援体制整備事業 先進地視察研修	裾野市	5名
11月12日	ひきこもり地域支援者研修会	県精神保健福祉センター	4名
12月1日	フィンランドに学ぶ、生きづらさをケアする対話とは	市福祉総合相談課	3名
12月8日	登校拒否・不登校問題 山梨のつどい	山梨不登校の子どもを持つ親の会	2名
12月13日	高齢者見守りネットワークサービスクサ	NPO 法人山梨県安心安全見守りセンター	2名
12月13日	西日本豪雨災害のボランティア	静岡県・静岡県ボラ協	7名

	ア活動から学ぶ～行政とボランティアの連携を考える～	会・静岡県社協	
12月18日	精神障害者等社会適応訓練事業研修会	県精神保健福祉センター	7名
1月22日～ 24日	災害ボランティアセンター運営者研修会	全社協	2名
2月13日	南ア市障害者相談支援スキルアップ研修会2019	南ア市障害者相談支援センター	3名
2月16日	NPO 法人青少年就労支援ネットワーク静岡活動報告会	NPO 法人青少年就労支援ネットワーク静岡	4名
2月20日	豪雪地域における除雪ボランティアと支えあい	南魚沼市社協	10名
3月6日	やまなし福祉救援活動フォーラム	県社協・県民児協	1名
3月7日	精神障害者等社会適応訓練事業実施農園視察研修	久保田農園	6名
3月8日	やまなし福祉救援活動推進員研修会	県社協	3名
毎月第2火曜日	関係機関について学ぶ(生活保護、スクールソーシャルワーカー、年金、健康保険、障害者支援、就労等)	ふくし相談支援センター	

成年後見センター

研修日	内 容		参加者
7月 9日 10日	地域包括支援センター基礎研修	長寿社会 開発センター	2名
7月12日 13日	関東ブロック職員研修	県社協	2名
7月17日	生活保護制度について	社協	2名
8月20日	新任生活支援員研修	県社協	4名
8月24日	現任生活支援員研修	県社協	3名
1月30日	社会福祉法人研修会	社協	2名
2月 6日～ 8日	日常生活自立支援事業 専門員実践力強化研修 I	全社協	1名
2月13日	障がい者相談支援スキルアップ研修	市障がい者相談支援センター	3名
2月19日	診断書改正研修	家庭裁判所	2名
3月13日	生活支援員研修	社協	7名

居宅支援課

研修名 (主催・項目)	内容 ()は受講人数	受講者数 合計
南アルプス市	・事業所連絡会 (1) ・自立支援ケアプラン(4) ・地域づくり(1) ・虐待防止、権利擁護(2) ・虐待防止のケア (1) ・在宅療養介護のための多職種連携 (2) ・多職種連携住環境整備 (5) ・介護支援専門員の困りごと (5)	21名
(県・峡中)介護支援専門員協会	・介護保険の現状(1) ・研究発表(3) ・主任介護支援専門員フォローアップ(2) ・課題整理総括表(3) ・ケアマネジメント基礎研修(1) ・地域支部連携大会(3) ・障害福祉サービス(2) ・終活(2) ・在宅医療講演会(5) ・メンタルヘルス (2)	24名
社協主催	市民後見人講座 (5) 、CSW実践報告 (3)	8名
課内研修 自主研修	制度改正、居宅介護支援事業所運営基準(5) ・保健衛生学習会 10回 (48) ・課題整理総括表 5回 (25) ・ケアプランチェック見直し (5) ・諸制度 (5) ・ケアマネジメントプロセス (4)	92名
合同事例検討会 (他事業所と)	5回 (22)	22名
課内事例検討会	4回 (20)	20名

訪問介護課

研修名	内 容 ()内は参加人数	参加者数
事業所内部 研修会	・障害福祉サービス(17) ・ヘルパーマニュアル(33) ・緊急時(33) ・熱中症(31) ・食中毒予防(31) ・接遇(31) ・ケース検討(30) ・トランスファ (22)	228名
市訪問部会・居宅部会	・口腔ケア(23)	23名
山梨県	・障害福祉従事者スキルアップ (5)) ・介護保険事業所集団指導 (1) ・障害福祉サービス集団指導 (2) 関東ブロック研修 (3)	11名
専門研修	・同行援護研修基礎編(1)応用編(3) ・働き方改革 (1) ・雇用管理 (1) ・福祉有償運送運転者講習会(1)	7名

南アルプス市包括・福祉	・障害者相談支援(1)・在宅療養連携(1)・高齢者虐待・権利擁護(1)・障害従事者虐待防止(3)	6名
その他	・市民後見人講座(3)・生活保護(2)	5名

通所介護(3デイサービス)

研修名	内 容	参加者数
福祉サービス苦情解決事業研修会	クレーム対応研修	1名
感染症対策講座	レジオネラ感染症	2名
南アルプス市事業所部会研修	通所部会(権利擁護に関する研修)	14名
社協職員研修	ファシリテーションの基礎を学ぶ	25名
ハローワーク甲府	介護分野・雇用管理改善人材確保セミナー	1名
南アルプス市職員研修(管理者)	新任課長職研修	1名
事業所向け虐待防止・権利擁護研修会	・直接支援に関わる施設・事業所向けの「虐待を起こさない本人中心のケア視点」	2名
高齢者権利擁護研修	権利擁護セミナー(福祉従事者のための権利擁護制度)	3名
施設内研修	虐待防止研修 ファンドレイジング研修、介護記録の書き方	23名
介護職員テーマ別研修	・病気・事故対応・緊急時の対応 クレーム対応	3名
山梨県老人福祉施設協議会	・リーダーとしての学び 中間管理職層に必要なこと	2名
高齢者見守りネットワークサービス検討会	・地域共生社会実現に於ける高齢者の現状	2名
山梨県社協・産業保健福祉センター研修	「精神面でのセルフケアについて」「精神障害の理解と対処について」	1名
	認知症サポーター養成講座	6名

養護老人ホーム慈恵寮

研 修 日	内 容	参加者
-------	-----	-----

4月26日	障害福祉サービス制度と障害特性について（社内）	1名
5月18日	事故防止委員会「介護事故予防」（寮内）	5名
6月12日	21世紀委員会「職場のチーム力」（社外）	1名
6月18日	感染症対策委員会「感染症とは」（寮内）	5名
7月4日	食中毒の予防と衛生管理について	1名
8月27日	福祉施設における防犯対策	9名
8月28日	救急救命講習会（職員・入所者・厨房・宿直対象）（寮内）	32名
8月31日	コミュニケーション技術と回想法	1名
9月18日	「あったか色のまちづくりを私たちはどう実現するか」（社内）	4名
9月27, 28日	甲種防火管理新規講習会	1名
11月16日	事故防止委員会「ヒヤリ・事故等についての検証と防止策についての共有会議」	9名
11月19日	感染症対策委員会「インフルエンザ対策について」（寮内）	5名
12月13日	「介護職員のための薬の基礎研修」	1名
12月25日	伝達研修「薬の基礎研修」（寮内）	8名
2月13日	介護リーダー研修会「部下から目標とされるリーダーになるために」	1名
2月14日	その人らしい暮らしを支え繋ぐ研修	1名
2月25日	身体的拘束についての研修（寮内）	8名
2月26日	栄養士スキルアップ研修「食物アレルギーについて」	1名